

青天白雲塾

— 世界と日本を考える真のリーダーを育成する —

株式会社 不識庵

ぐ 挨拶

「青天白雲塾」は株式会社「不識庵」の主力講座「不識塾」のジュニア版として、40歳前後の幹部候補生を対象に開講してまいりました。その基本理念

は、歴史、哲学、文化、倫理などのリベラルアーツ的思考を通して、日本企業が直面している課題について深く掘り下げ、根本的な解決策を考え抜く力を身につけていただくことにあります。

通常、企業人向け研修の多くは、経営戦略論など、スキル系の研修が中心ですが、「青天白雲塾」は、厳しい経営環境の下、もはや表面的な知識やスキルを磨くだけでは問題解決には不十分であり、問題の本質をより深いところで捉え直し、根本的なところから解決策を構想する「根源的な問題解決力」を身につけることが必要だと考えます。そのような「根源的な問題解決力」を身につけるためには、どうすればよいのか。答えは決して簡単ではありませんが、我々が確信していることの一つは、現代世界がどのような原理で動いているのか、日本は世界の中でいか

なる地位を占めているのか、日本企業の独自性の源泉とは何なのかなど、抽象度の高い問題について思索を深め、根本から「自社のあるべき姿」を考え直してみるという知的訓練の積み重ねが重要だということです。

このような観点から、「青天白雲塾」における研修プログラムは、「歴史、哲学などリベラルアーツをベースにし」ながら、日本文化の真髄に迫ること」を目指しております。「文化を勉強してもビジネスには役立たない」とお考えの方も多いと思いますが、トヨタの例を引き合いに出すまでもなく、グローバルな競争力を持ち、世界で認められている日本企業のほとんどが一種の深い「文化性」を持っていることを忘れるべきではありません。

実際、商品の緻密さ・繊細さ、匠の技に裏打ちされた「ものづくり」の精神、信用力、おもてなしの心、「三方良し」など、日本企業の拠って立つ行動規範の裏側には、長い伝統によって培われた日本文化の奥深い伝統が息づいています。問題の核心はむしろ、我々日本人自身が目先の問題への対応に忙殺され、「日本文化を能動的にビジネ

スに生かす」という視点を忘れてきたという事実こそあるのではないのでしょうか。

多くの企業にとって、これまでの経営を踏襲するだけでは、人口減少、グローバル競争などを乗り越えた「新たな成長」を実現することは困難です。それを可能にするためには「発想の転換」が何よりも重要です。日本が歴史的に育んできた文化価値や美意識を今一度冷静な目で見つめ直すことによつて、日本企業の競争力の源泉を見つけ出し、「根源的な問題解決力」を磨いていただく。それこそが「青天白雲塾」の目指すところです。

株式会社 不識庵 代表取締役

中谷 巖

「青天白雲塾」の目的

「青天白雲塾」は表面的な経営スキルの習得で満足するのではなく、物事の実体を深く掘り下げることによって、世界と人間に対する理解を深め、謙虚で洞察力のある中堅中核ビジネスリーダーの育成を目指します。

「青天白雲塾」の特徴

1. 歴史、哲学、宗教、文化・文明論など、リベラルアーツ中心のカリキュラムです。
2. グローバルな競争に打ち勝つための日本人としての「軸」を確立できます。
3. 組織に求心力を与える大局観とリーダーシップを身につけることができます。

「青天白雲塾」の講座について

■ 受講生主体の「双方向型」講座形式

講座は、毎回、各分野における精鋭のゲスト講師をお招きし、受講生がプレゼンテーションを行うことから講座は始まります。講義を一方向的に聴講するのではなく、事前の入念な準備や各チームのプレゼンテーションをもとに、講師と受講生が相互に議論を行います。双方向の議論を通じてテーマ全般への理解を深めるとともに、将来の経営幹部として不可欠なコミュニケーション力や本質を見極める力を身につけます。

■ チームで取り組む異業種交流型の学び

さまざまな業種に従事する受講生が、7～8名編成のチームに分かれ、歴史、哲学、宗教、文化など多岐にわたるテーマについて事前に議論を重ね、プレゼンテーションの準備を行います。年齢や業種はもとより所属する組織の価値観が異なるメンバーによるチームワークを通じて、多様な価値観への理解や企画力・提案力・構想力の強化を図ります。通常業務をこなしつつお互いに時間をやり繰りしてチームで取り組む経験は、本講座が終了した後も強い絆となり、受講生間での長く深い交流につながっています。

■ 4名で提案する「我が社の進むべき方向」

本講座の最終日に、受講生が所属する企業の経営層に向けて「変貌する世界における我が社の進むべき方向」を発表していただきます。この提案は、各自がまとめた同タイトルのレポート「変貌する世界における我が社の進むべき方向」に本講座で学んだ内容や気づきを加え、各社4名の受講生が徹底的な議論を通じて作りあげます。過去から学び、未来を描く—自ら主体となって考え動く中堅中核ビジネスリーダーとして自社をリードする覚悟と行動力を醸成します。

募集概要

期 間

2019年6月～2019年11月

受講対象

中堅中核ビジネスリーダー(幹部候補の中間管理職)(各企業4名)

※4名の選出は、営業、管理、生産、研究開発など異職種メンバー構成をお願いします。

受講料

432万円

※いずれも4名分・消費税8%を含んだ価格となります。

※教材費、合宿経費(宿泊代・食事代等)を含みます。

ただし、会場までの交通費につきましては、各自(各社)にてご負担願います。

定員および申込締切

定員:異業種の企業8社32名程度(1社4名)

申込受付期間(2019年度):

募集締め切り・・・2019年2月28日

※本年度の申し込みは終了致しました。

【組織概要】

名称	株式会社 不識庵
設立	平成22年2月22日
代表取締役	中谷 巖
住所	〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目14番4号 電話 03-3292-0320 ファクシミリ 03-3292-0321
活動内容	世界と日本を考える真のトップリーダーを育成する「不識塾」、中堅中核ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」のほか、社内研修も行っています。
問い合わせ先	野口(noguchi@fushikian.jp) 講座の詳細、応募方法などはホームページ(www.fushikian.jp)もあわせてご覧ください。

